



大洗町大規模盛土造成地マップ

大洗町では、国が推進する宅地防災対策（耐震化）の一環として、大規模盛土造成地の存在調査を実施いたしました。この調査結果に基づき、「大規模盛土造成地マップ」を公表いたします。

●安心・安全なまちづくりを目指して

近年の地震災害のひとつとして、大規模に谷や沢を埋めた盛土や斜面が崩れて起こる滑動崩落といわれる多くの被害が生じました。このため、町内のどこに大規模盛土造成地が存在するのかを確認頂き、知って頂くことで、身近に存在するものであることを認識し防災意識を高めることを目的としてこのマップを公表します。日ごろから宅地の周辺や擁壁に目を配り点検し被害の前兆となりうる異常をいち早く発見することで災害の未然防止や被害の軽減につなげていきます。

●大規模盛土造成地の対象地域

大規模盛土造成地の対象となるエリアは一定規模以上の形状であることが要件となります。大規模盛土造成地は右記のような2種類の型に分類され、計算により対象かどうか選別されます。（選別基準は、国が策定した「大規模盛土造成地の活動崩落対策推進ガイドライン及び同解説」に基づいています。）

【宅地の耐震化に関するホームページ】

▼宅地防災／国土交通省

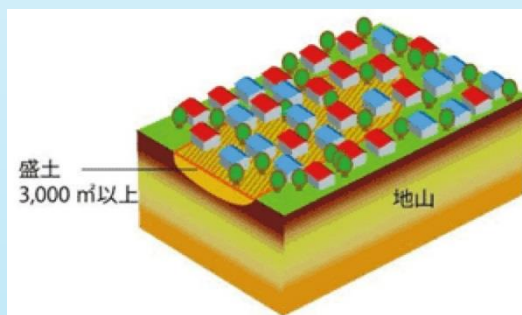
<http://www.mlit.go.jp/toshi/web/index.html>

▼我が家の擁壁チェックシート／国土交通省

<http://www.mlit.go.jp/crd/web/jogen/check.htm>

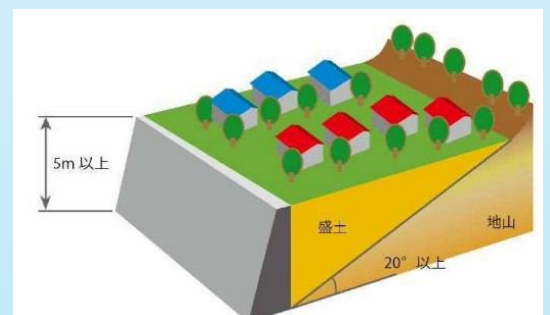
① 谷埋め型大規模盛土造成地

谷を埋め立てた造成地で、
盛土の面積が3,000㎡以上のもの



② 腹付け型大規模盛土造成地

傾斜地に盛土した造成地で、地山（造成前の原地盤）の勾配が20度以上、かつ盛土の高さが5m以上のもの



（国土交通省「大規模盛土造成地の滑動崩落対策推進ガイドライン及び同解説」より）

●大規模盛土造成地マップの作成方法

基礎資料収集



造成後

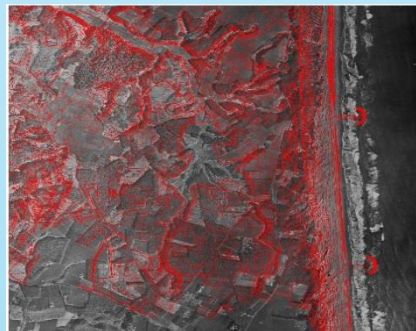
現況地形図



造成前

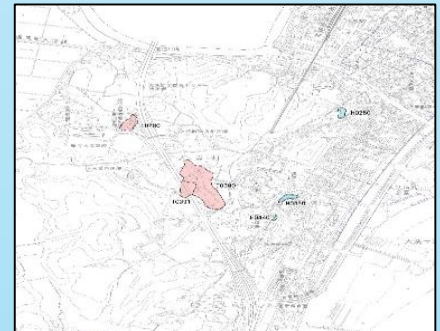
空中写真

重ね合わせによる判定



宅地造成前後の標高を把握し比較することにより造成地の位置の把握をします。

造成地の位置の把握



宅地造成前後の標高を把握し比較することにより造成地の位置の把握をします。

●大規模盛土造成地に関するQ & A

Q 1 マップに示されている箇所は危険ということですか？

地下水の処理と盛土の締め固めが適切に行われている場合は安全であると考えられます。公表したマップは町内に分布する大規模盛土造成地の概ねの位置を示したものです。マップに示されている箇所が必ずしも危険というわけではありません。今後引き続き調査で抽出箇所の安全性を調査していきます。

Q 2 なぜ、このようなマップを公表するのですか？また、より詳細なマップは公表しないのですか？

皆様に谷間や傾斜地に造成された大規模な盛土造成地が身近に存在することを知って頂く事を目的としています。日ごろからご自宅の周辺の擁壁や斜面に目を配り点検して頂くことで防災意識を高め災害の未然防止や被害の軽減につなげるのが重要と考え公表しています。マップを作成するために使用した造成前の地形図等は必ずしも精度が高くないため、誤差が含まれることを考慮しての縮尺としています。

Q 3 大規模盛土造成地の中にある土地は、何か特別な手続きが必要ですか？

何か特別な手続きは必要ありません。また宅地開発や建築を行う場合でも特別な手続きが加わるということはありません。しかし、ご自分でも日頃から宅地や周辺の擁壁にひび割れやはらみ出しがないか、水漏れがないか等点検し目配りすることで災害防止につながります。

Q 4 自宅は造成したエリアなのにマップに公表された箇所に記載されていないのですが？

公表しているマップには、谷埋め型であれば3,000㎡以上、腹付け型であれば盛土前の地盤の水平面に対する角度が20度以上かつ高さが5m以上のものを記載してあります。たとえば切土のように硬い地盤を切り崩しそのまま使う造成は比較的安全とされているため表記していません。

Q 5 大規模盛土マップと土砂災害警戒区域指定箇所マップは異なるのですか？

そのとおりです。大規模盛土造成地は、Q 4 で記載していますが一定規模以上の谷埋め型、腹付け型の盛土箇所を示したものであり、土砂災害警戒区域とは異なります。